

2014年3月13日

東急不動産株式会社

私募リート運用開始に関するお知らせ

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指 潔)の連結子会社である東急不動産キャピタル・マネジメント株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:前原 仁司)は、主に機関投資家を対象とした非上場オープンエンド型の私募リート「ブローディア・プライベート投資法人」(以下、「BPR」といいます。)を組成し、本日、運用を開始いたしましたので、お知らせいたします。なお、BPRの資産の運用は、私募ファンドの運用事業を行っております東急不動産キャピタル・マネジメント株式会社が受託いたします。

■ 私募リート市場への参入の背景

上場不動産投資信託(J-REIT)(以下、「上場リート」といいます。)が登場して約10年が経過し、わが国における不動産証券化市場が成熟する中、2010年に始まった私募リート市場は、上場リートや従来の私募ファンドとは異なる投資ニーズに応える形でその市場規模の拡大が続いています。

BPRは、そうした状況を踏まえ、運用期間が無期限の私募ファンドとして投資法人スキームを用いて組成した私募リートです。当初資産規模は約213億円で、早期に1,000億円規模に拡大させ、以降も持続的な外部成長を目指してまいります。

■ BPRの特性

1. BPRは運用期間が無期限の非上場オープンエンド型の私募リートです。このため、上場リートと異なり、金融・資本市場の影響による投資口の価格変動リスクが相対的に限定されている特徴があります。また、BPRは投資主からの払戻しに応じるスキームを持ち、投資口について一定の流動性を確保しています。
2. 総合型のポートフォリオ構築方針に基づき、オフィスビル、商業施設、レジデンスを中心に、ホテル、物流施設、その他資産への投資を行い、ポートフォリオ分散を効かせつつ、安定的な収益の確保と着実な運用資産の成長を目指してまいります。

■ 東急不動産グループによるリート事業への取り組み

東急不動産グループでは、リート事業に積極的に取り組んでおり、2012年にアクティビア・プロパティーズ投資法人、2013年にコンフォリア・レジデンシャル投資法人を上場し、資産運用業務を行っています。これらの上場リートに加え、今回私募リート市場へ参入することで、新たな投資機会を創出し、不動産投資市場の更なる活性化に寄与できるものと考えております。

BPRの組成・運用により、中期経営計画における重点課題達成のための具体的施策の一つである「循環型再投資モデル」の深化・拡大に寄与するとともに、多様な投資ニーズに応えてまいります。

■ BPR及び資産運用会社の概要

1. BPRの概要

法人名 ブローディア・プライベート投資法人
Broadia Private REIT, Inc.

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番3号

設立 2013年10月15日

登録 2013年10月29日

代表者 執行役員 前原 仁司

投資対象 三大都市圏や全国主要都市並びにその周辺地域に立地するオフィスビル、商業施設、レジデンス、ホテル、物流施設やその他資産(ヘルスケア、インフラ等)

投資家 国内の機関投資家等

2. 資産運用会社の概要

社名 東急不動産キャピタル・マネジメント株式会社
Tokyu Land Capital Management Inc.

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番3号

設立 2007年2月15日

資本金 3億円(東急不動産株式会社100%)

代表者 代表取締役社長 前原 仁司

免許等 宅地建物取引業 東京都知事(2)第88370号
取引一任代理等の認可 国土交通大臣認可第75号
金融商品取引業 関東財務局(金商)第887号

WEB <http://www.tokyu-tlcm.co.jp/>

※本リリースは、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、日本国内外を問わず、一切の投資勧誘、それに類する行為のために作成されたものではありません。

以上